



本号の内容

- ・第43回公開研究会「専門職育成のための授業法」開催
- ・「第26回荒川区産業展」出展協力
- ・自閉症児教育実践研究協議会開催
- ・調整手当の支給割合
- ・共済組合係からのお知らせ
共済組合員証返還、人間ドック実施
- ・野外活動実習場（野性の森）利用予定者事前講習会開催
- ・平成17年度組換えDNA実験従事者講習会開催
- ・INSPECデータベースサービス終了
- ・液体窒素・液体ヘリウム供給停止
- ・低温寒剤（液体窒素・液体ヘリウム）利用に関する説明会開催
- ・各種表彰
- ・平成17年度附属学校入学式日程及び会場
- ・平成17年度「速報つくば」発行予定

2005 06

2005年06号（通巻1098号）

発行： 筑波大学

編集： 総務・企画部

発行日：平成17年3月24日

1,393人に喜びの春

平成17年度前期日程合格発表

- 学群・学生部入試課 -

本学は、3月8日（火）に前期日程入試の合格者1,393人を発表しました。

募集人員1,167人に対し4,232人の志願があり、志願倍率は3.6倍（昨年3.7倍）で、前年度より若干の減となりました。第1段階選抜に合格した4,130人のうち3,983人が第2段階選抜に臨みました。

現役合格者の比率は75.1%で、昨年の69.3%を大きく上回りました。また、合格者の出身高等学校所在都道府県別では、地元茨城県がトップで216人（昨年比13人増）、以下、東京都102人、埼玉県93人、千葉県76人、静岡県63人の順となりました。

好天に恵まれた当日午前10時に、本部棟南側駐車場の掲示板に合格者の受験番号が張り出されると、自分の番号を見つけて「あった！」と歓声を上げる受験生たち。本学アメリカン・フットボール部員に胸上げされたり、保護者と抱き合って喜ぶ受験生やカメラ付き携帯電話で記念撮影をする姿などが随所に見られました。なお、合格者の受験番号は14日（月）まで本学公式ホームページにも掲載され、2万件を超えるアクセスがありました。



第43回公開研究会「専門職育成のための授業法」開催される
- 大学研究センター -

3月11日、東京キャンパスG501講義室において、第43回公開研究会「専門職育成のための授業法」が開催されました。全国で専門職大学院の設置が急増する中、プロフェッション育成のための効果的なカリキュラムと授業法の在り方について、専門分野を越えて考えることをねらいとしたもので、全国から約60名の方に参加いただきました。

- ・慶應義塾大学の高木晴夫教授からは、ビジネス・スクールが育成をめざす経営能力の構造とそれらを育成するためのケース・メソッド授業法について
- ・名古屋大学の松浦好治教授からは、法律家に求められる専門技能と新たに開発したインターネット利用の授業システムについて
- ・本学の庄司進一教授（人間総合科学研究科）からは、問題基盤型少人数グループ学習のカリキュラムと指導の実際について

それぞれ報告をいただいた後、活発な討論が行われました。

この内容は、同センターの研究紀要『大学研究』に後日詳述する予定ですので是非ご参照ください。



庄司進一教授の講演の様子

また、今回の研究会の成果を踏まえ、来年度は筑波地区の先生方を対象に、実践に役立つ授業法のセミナーを開催する予定ですが、詳細が決まり次第、本紙にて案内いたします。なお、セミナー開催に関するご要望などがありましたら、E-mail：sanota@sakura.cc.tsukuba.ac.jpまでお寄せください。

「第26回荒川区産業展」に出展
協力 - 東京リエゾンオフィス -

東京リエゾンオフィスは、3月12日（土）、13（日）の両日、荒川総合スポーツセンターにおいて開催された「第26回荒川区産業展」（主催：第26回荒川区産業展実行委員会、荒川区工業団体連合会他）に初出展し、液晶プロジェクターと印刷物により研究成果を紹介しました（92社・



産業展の様子

団体が出展、延べ12,665人が来場）。今回の出展は、8月に開業予定の「つくばエクスプレス」に関連して、荒川区からの依頼に協力したものです。また今後、「産学官連携交流事業」（運営：荒川区・東京商工会議所荒川支部）について、荒川区内の企業等からの科学技術相談にも協力していく予定です。

自閉症児教育実践研究協議会が
開催される
- 附属久里浜養護学校 -

文部科学省から、平成16～18年度教育研究開発の委嘱及び研究開発学校の指定を受けた附属久里浜養護学校において、2月25日（金）、「自閉症児の教育課程の開発」について第一年次の教育実践研究の成果を報告し、協議を行う自閉症児教育実践研究協議会が開かれました。

日本全国から学校関係者約250名が参加、午前中は個別指導の授業の内容をテレビモニターにより視聴し、幼児児童が下校後、学習室を公開。午後は研究全体会となり、



開会式であいさつする西川
公司附属久里浜養護学校長

り、研究発表、学習室の実践発表後に質疑応答が行われました。講評では、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官石塚謙二氏から「自閉症の特徴をクリアカットに研究し、自閉症児への対応を分かりやすく発信していくように」という指導があり、国立特殊教育総合研究所総合研究官の小塩允護氏からは「いくつかの有益な提案が発表された

が、自閉症の指導内容を考える際の観点について、更に整理検討していくとよい」、また、園山繁樹教授（人間総合科学研究科）からは「指導方法の有効性を評価していくことの大切さと自閉症児にある才能を見だし、伸ばしていく方法について探っていくとよい」と、それぞれ助言をいただき、今後の自閉症児のための教育課程の開発につながる有意義な実践研究協議会となりました。

調整手当の支給割合について
- 組織・人事部人事課
給与第二係 -

既に通知のとおり、国立大学法人筑波大学職員の手当に関する規程第14条に基づき、調整手当の異動保障による支給期間は、2年間とされ、2年目の支給割合は、現行の支給割合に100分の80を乗じた割合となります。

100分の80を乗じた割合は、平成17年4月から適用されますのでお知らせします。図で示すと次のとおりです。

100	100	80
	100	80
	100	80
15.4.1	16.4.1	17.4.1
		18.4.1

共済組合係からのお知らせ
- 組織・人事部人事課
福利厚生室共済組合係 -

共済組合員証の返還について

本学から転出、または退職される場合においては、共済組合員証を所属の共済組合事務担当係まで速やかに返還願います。

平成17年度「人間ドック」の実施について

文部科学省共済組合では、平成17年度も保健事業として成人病の予防と早期発見を目的とした「人間ドック」を下記のとおり実施する予定です。

対象者：満年齢35歳（平成17年4月1日現在）以上の組合員及び組合員の被扶養者である配偶者

自己負担額：

組合員

・日帰りコース：約20,000円程度（ただし、虎の門病院の胃X線検査無については10,870円）

・1泊2日コース：約45,000円程度

被扶養者である配偶者

・日帰りコース：約30,000円程度（ただし、虎の門病院の胃X線検査無については20,870円）

・1泊2日コース：約55,000円程度

実施期間：7月1日～11月28日

医療機関及び検査日等：

つくば地区

・1泊2日コース（祝日を除く。）

医療機関名	検査日	検査開始日
筑波メディカルセンター	〔水木・金土〕	〔水・金〕
筑波記念病院	〔月火・火水・水木・木金・金土〕	〔月～金〕
牛久愛和総合病院	〔月火・水木・金土〕	〔月・水・金〕
総合守谷第一病院	〔月火・火水・水木・木金・金土〕	〔月～金〕

・日帰りコース（〔月～土〕で祝日を除く。）

筑波メディカルセンター

筑波病院

筑波記念病院

筑波学園病院

牛久愛和総合病院

総合守谷第一病院

東京地区

- ・1泊2日コース（祝日を除く。）

医療機関名	検査日	検査開始日
平塚胃腸クリニック	〔月火・水木・金土〕	〔月・水・金〕
六医会内幸町診療所	〔月火・火水・水木・木金・金土〕	〔月～金〕

- ・日帰りコース（〔月～土〕で祝日を除く。）

平塚胃腸クリニック
池袋藤久ビルクリニック
六医会内幸町診療所
虎の門病院

神奈川地区

- ・1泊2日コース（祝日を除く。）

医療機関名	検査日	検査開始日
横浜総合健診センター	〔月火・火水・水木・木金・金土〕	〔月～金〕

- ・日帰りコース（〔月～土〕で祝日を除く。）

横浜総合健診センター
横須賀共済病院

その他の地区

- ・1泊2日コース（祝日を除く。）

医療機関名	検査日	検査開始日
小諸厚生総合病院	〔月火・火水・水木・木金・金土〕	〔月～金〕

受診日その他詳細は「人間ドック受診申込書」で確認してください。

申込み手続き等：

- ・受診希望者は、「人間ドック受診申込書」（本人用と配偶者用があります。）に必要事項を記入のうえ、4月8日（金）までに各所属の共済組合事務担当係（者）に提出願います。
- ・受診者には、後日受診日を通知しますので、指示に従って受診してください。
- ・申込期限は厳守してください。期限経過後は、キャンセル待ちになりますので、ご了承ください。

受診日の変更等：

- ・受診月日を変更する事由が生じた場合は、速やかに共済組合係へ申し出てください。
- ・7～8月は受診希望者が集中するため、希望の受診日にならない場合があります。他の受診月日になることがありますので、予めご了承ください。
- ・原則として、配偶者の受診月日は変更できません。
- ・婦人科検診は、受診枠が少ないため、希望に副いかなる場合があります。
- ・虎の門病院は、受診枠が少ないため、他の病院に変更していただくこともあります。

その他：

人間ドックについてのお問い合わせは、組織・人事部人事課福利厚生室共済組合係（TEL2953, 2181）又は、各所属の共済組合事務担当係（者）へお願いします。

野外活動実習場（野性の森）利用
予定者事前講習会の開催について
- 体育センター -

野外活動実習場（野性の森）が、より多くの利用者に、より長く喜ばれる施設として存続するよう、毎年「利用予定者事前講習会」を実施し使用方法の徹底をはかってきました。平成17年度も利用予定の団体（教職員及び学生）を対象に「利用予定者事前講習会」を開催いたします。（事前講習会に参加した人がいる団体は参加不要です。）

日 時：4月9日（土）10:00～11:00

場 所：野外活動実習場（野性の森）

対 象：野外活動実習場の使用を予定している団体の代表者
 内 容：利用上の諸注意，利用申請手続き説明，受講登録，簡単な作業
 持参品：筆記用具，軍手

4月9日以前に利用する予定がある場合は，体育センター事務室（TEL2870～2873）に相談ください。

平成17年度は，これ以外に1学期終了時（第2回），2学期開始前（第3回）に講習会を予定しています。

平成17年度組換えDNA実験従事者講習会の開催について

- 研究事業部研究事業課 -
 - 遺伝子実験センター -

新たに組換えDNA実験を行う教職員及び学生等に対して，次の通り講習会を開催します。

日 時：4月23日（土）10:00～12:00

会 場：第二学群H棟2H101

内 容：1 遺伝子組換え実験に関する規則について
 2 組換えDNA研究の基礎技術
 3 微生物安全取扱法

対 象：平成17年度に組換えDNA実験を行う予定の教職員，大学院学生，学群学生，研究生等とする。

ただし，過去に本講習会を受講し，組換えDNA実験従事者として登録された者は，原則として今回の講習会受講者の対象から除外する。

申込方法：所定の申込書に所要事項を記載の上，4月15日（金）までに研究事業部研究事業課研究企画係（対応支援室研究支援担当経由）へ提出する。

問合せ先：研究事業部研究事業課研究企画係（TEL2926，2927，FAX6011）

遺伝子実験センター事務室（TEL6006，FAX7723）

INSPECデータベースサービス終了について

- 学術情報メディアセンター -

INSPECデータベースについて，平成16年9月1日（水）～平成17年3月31日（木）まで利用できるよう，Ovidと契約していますが，来年度は契約を継続しませんので，3月31日をもって利用できなくなります。

3月31日までの利用に関しては，次のWebページを参照してください。

URL：<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/utopia/ovidins.htm>

液体窒素・液体ヘリウムの供給停止について

- 研究基盤総合センター
 低温部門 -

高圧ガス製造設備保安検査（茨城県立会い）のため，4月21日（木）の液体窒素・液体ヘリウムについて，供給を停止します。

低温寒剤（液体窒素・液体ヘリウム）利用に関する説明会の開催について

- 研究基盤総合センター
 低温部門 -

次のとおり説明会を行いますので，これまで説明会に出席されていない方は全員出席ください。

対象：教職員・学生

日時：4月13日（水）12:30～14:00

14日（木）15:30～17:00

場所：第三学群A棟3A204

どちらか都合のよい日に出席してください。

また，開催日によって時間が変更になっておりますので，注意してください。

なお，この説明会を受講しない場合，低温部門・自然学系タンク・第三学群タンクにおいて寒剤を使用することができません。

寅市和男教授が平成16年度船井情報科学振興賞を受賞

寅市和男教授（システム情報工学研究科，リスク工学専攻，先端学際領域研究センター）は，「フルーエンシ情報理論とそのマルチメディアへの応用に関する研究」の業績により財団法人船井情報科学振興財団の平成16年度船井情報科学振興賞（エレクトロニクス部門）を受賞しました。

この賞は，わが国の情報技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的に創設

され、情報技術（IT）に関する研究について顕著な功績のあった大学または公的機関に所属する研究者に対して授与されるもので、多数の応募の中から寅市教授の研究が選ばれました。

なお、この研究はTARAプロジェクトの一環として行われているものです。

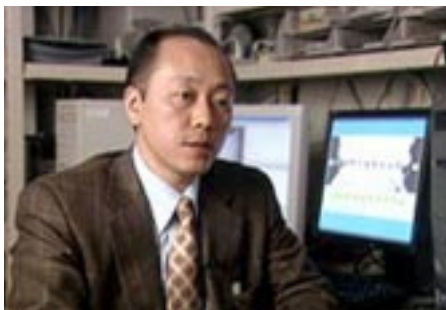


木塚徳志助教授が科学技術映像祭内閣総理大臣賞を受賞

木塚徳志助教授（数理物質科学研究科）が出演し、同助教授の成果をもとに制作されたTV番組「未来を創る科学者たち2004 アトムファクトリー 原子の世界からのライブ中継～木塚徳志～」が、平成17年度（第46回）科学技術映像祭において内閣総理大臣賞を受賞しました。

科学技術映像祭は、すぐれた科学技術に関する映像を選奨し、科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図ることを目的として開催されています。

受賞作品は科学教育促進のため文部科学省と独立行政法人科学技術振興機構が企画し、(株)NTV映像センターと(株)東芝デジタルフロンティアが制作したもので、5部門ある中の「基礎研究」部門に出品されましたが、受賞した内閣総理大臣賞はこの全部門の大賞です。



木塚助教授が独自に開発した電子顕微鏡を使って、物質と物質の接触、接合、摩擦を原子レベルで観察した結果について紹介し、身近な現象を最先端の科学技術で解き明かし、教育的に構成した内容が評価されました。

なお、写真（左）は本学物質工学系研究室で撮影された作品の一画面です。

石川佳治助教授が平成16年度日本データベース学会上林奨励賞を受賞

石川佳治助教授（システム情報工学研究科、コンピュータサイエンス専攻、計算科学研究センター）は、平成16年度日本データベース学会上林奨励賞を受賞しました。

この賞は、故上林弥彦日本データベース学会初代会長のご遺族から寄贈された資金を活用し、データベースに関する研究や技術に対して国際的に優れた貢献を行った若手会員を奨励するためのものです。



範江林助教授が（財）ノバルティス科学振興財団研究奨励金を授与される

範江林助教授（人間総合科学研究科、基礎医学）は、研究課題「RNAiによるノックダウンウサギ・モデルの開発および動脈硬化研究への応用」によりノバルティス科学振興財団の平成16年度研究奨励金対象者に選出され研究助成金を授与されました。ノバルティス科学振興財団（旧チバガイギー科学振興財団）は1987年チバガイギーグループによって、自然科学における創造的な研究に対する援助・支援を行い、自然科学の研究の振興を図り、もって学術の発展に寄与することを目的として日本に設立された財団です。



ノバルティス科学振興財団の奨励金は、「生物・生命科学およびそれに関する化学の領域における創造的な研究」に対し多数の応募の中から範助教授の研究が選ばれました。なお、この研究はTARAプロジェクトの一環として行われるものです。

新谷由紀子講師が電気学会優秀論文発表賞（IEEJ Excellent Presentation Award）を受賞

新谷由紀子講師（システム情報工学研究科，産学リエゾン共同研究センター）は、平成16年7月16日に行われた電気学会の電気技術史研究会における特別講演で発表した論文「大学から産業界への技術移転の方法と課題 “The Ways and Problems in terms of University-Industry Technology Transfer”」で優秀論文発表賞（IEEJ Excellent Presentation Award）を受賞しました（発表当時は助手）。近年脚光を浴



びるようになった大学から産業界への技術移転について、主要な推進方策や課題について論じたものが評価されたものです。

電気学会は、1888年に創設された伝統ある学会ですが、現在は会員27,000人を擁し、多岐にわたる分野で活発な活動を行っています。

なお、この研究は、菊本虔教授（人間総合科学研究科，産学リエゾン共同研究センター）とともに行われたものです。

赤木和夫教授指導下の数理物質科学研究科2年諸石順幸氏がMRS-Jシンポジウム奨励賞を受賞

赤木和夫教授（数理物質科学研究科，学際物質科学研究センター）指導下の数理物質科学研究科2年諸石順幸氏（物性・分子工学専攻）は、平成16年12月23日に開催された第15回日本MRS学術シンポジウムにおいて、若手の優れた口頭・ポスター



発表を対象としたMRS-Jシンポジウム奨励賞を受賞しました。

諸石氏の発表題目は Chiral Transcription through Chiral Induction on Liquid Crystalline Conjugated Polymers（訳：液晶性共役系高分子におけるキラリ誘起を介したキラリ転写）です。液晶性を利用した光学活性（キラリティ）の誘起と転写を多段階的に適用することで、剛直な共役系高分子にキラリティーを発現させ、円偏光性蛍光を実現したことが評価されたものです。

大田友一教授指導下のシステム情報工学研究科4年竹村雅幸氏が第10回学生CGコンテストのインタラクティブ部門優秀賞を受賞

大田友一教授（システム情報工学研究科）指導下のシステム情報工学研究科4年竹村雅幸氏（知能機能システム専攻，日本学術振興会特別研究員）は、文化庁メディア芸術祭協賛事業第10回学生CGコンテストのインタラクティブ部門において優秀賞を受賞しました。受賞作品「BLADESHIPS」は、人間総合科学研究科の修士を昨年修了した原口俊吾氏（指導教員原田昭教授（人間総合科学研究科））との共同制作で、最先端の複合現実感技術を駆使し、一般の人々にも容易に楽しめる対戦型のゲームとして仕上げた点が評価されました。インタラクティブ部門には121作品の応募があり、最優秀賞1作品と優秀賞2作品が選ばれました。



表彰状を持つ竹村雅幸氏

平成17年度附属学校入学式日程及び会場

学 校 名	日	時	会 場
附属小学校	4月 8日（金）	10:00～	附属小学校講堂
附属中学校	7日（木）	10:00～	附属中学校育鳳館
附属駒場中学校	9日（土）	9:00～	附属駒場中・高等学校体育館
附属高等学校	11日（月）	10:00～	附属中・高等学校体育館
附属駒場高等学校	9日（土）	10:30～	附属駒場中・高等学校体育館
附属坂戸高等学校	8日（金）	10:00～	附属坂戸高等学校体育館
附属盲学校	8日（金）	9:30～	附属盲学校体育館
附属聾学校	9日（土）	10:00～	附属聾学校体育館
附属大塚養護学校	12日（火）	9:30～	附属大塚養護学校体育館
附属桐が丘養護学校	8日（金）	10:00～	附属桐が丘養護学校体育館
附属久里浜養護学校	8日（金）	9:30～	附属久里浜養護学校生活・運動学習センターブレイルーム

平成17年度「速報つくば」発行
予定

号	原稿締切日	発行日
07号	平成17年3月31日(木)	平成17年4月6日(水)
08号	4月14日(木)	20日(水)
09号	28日(木)	5月11日(水)
10号	5月19日(木)	25日(水)
11号	6月2日(木)	6月8日(水)
12号	16日(木)	22日(水)
13号	30日(木)	7月6日(水)
14号	7月14日(木)	21日(木)
15号	9月1日(木)	9月7日(水)
16号	15日(木)	22日(木)
17号	29日(木)	10月5日(水)
18号	10月13日(木)	19日(水)
19号	27日(木)	11月2日(水)
20号	11月10日(木)	16日(水)
21号	24日(木)	30日(水)
22号	12月8日(木)	12月14日(水)
23号	21日(水)	28日(水)
01号	平成18年1月5日(木)	平成18年1月12日(木)
02号	19日(木)	25日(水)
03号	2月2日(木)	2月8日(水)
04号	16日(木)	22日(水)
05号	3月2日(木)	3月8日(水)
06号	16日(木)	23日(木)

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回(通巻1099号)の発行は4月6日(水)、原稿締切りは3月31日(木)となります。

学内行事、イベント情報及び教職員サークル活動などの記事も募集しています。

なお、「速報つくば」への寄稿に際しては、次の事項に留意ください。

できるだけ電子メールや電子メールへの添付ファイル等にしてください。

表彰関係記載項目については、受賞者氏名、所属、受賞名、簡単な賞の説明、受賞対象論文名等(掲載誌のページ等は省略願います。)とし、授賞式の日時、場所等については、必要がある場合等を除き、省略願います。

シンポジウム等の開催案内でシンポジウム等の概要を記す場合は、なるべく400字以内としてください。

簡潔に記載してください。

採用させて頂いた原稿は、Web上に掲載しますので、ご了承願います。また、文教速報(官庁通信社発行)、文教ニュース(文教ニュース社発行)及びSTUDENTS(学群・学生部発行)等からの情報提供依頼があった場合は、掲載情報(写真等を含む。)を提供しますのでご承知おきください。

「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は広報課(TEL2065, FAX2014)へお願いします。

E-mail: sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

電子メールで寄稿された方には、「速報つくば」より原稿受付等の返信メールをお送りしますので、ご確認ください。なお、返信メールが届かない場合は、お手数でも広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。